

グリーンノート

No. 100 8月号 発行日 平成26年8月20日



おかげさまで

「グリーンノート」は100号を迎えました。

緑のコーディネーターと、緑の活動団体にお届けしている「グリーンノート」が今月で100号を迎えました。

平成18年5月に創刊号を発行して以来、毎月お届けできたのも、皆さまが活動報告やお知らせ情報を投稿していただいたおかげと感謝しています。

緑のコーディネーター制度は今年で10年目を迎えます。地域活動や緑化イベント、市民を対象にした講座等、お届けする内容がどんどん増えていきました。

平成23年6月からは、地域の森・花づくりの活動団体の皆さまにもお届けするようになり、活動団体の紹介も行ってきました。

100号を記念して特集号を作成しました。「あんなこと、こんなこと、あったなあ〜」と思い出しながら、見ていただけたら幸いです。

《事務局一同》

目次

- ・「グリーンノート」100号を迎えました 1
- ・舞鶴公園みどりのツアーガイド研修会
- ・花だより～しろうお会～ 2
- ・寄せ植え華道特別講習会
- ・筑後吉井の花飾り 3
- ・コケ玉講座～四箇田公民館～ 4
- ・舞鶴公園花と大木を巡る地図を配信・配布
- ・グリッド・キャンパ・ーン2014 体験講座企画運営募集 5
- ・グリッド・キャンパ・ーン2014 コンテナーガーデン、ウエルカムガーデンデザイン提案募集
- ・植物園からのお知らせ

舞鶴公園みどりのツアーガイド研修会に参加して

《緑のコーディネーター 小寺福代さん》

【日時】7月18日（金）13:30～15:30

【場所】舞鶴公園

「グリーンシティ福岡」理事の志賀さんによる“ガイドとしての心構え”や、“スタッフとしてどうあるべきか”をテーマに講習があり、楽しいお話の中にも、参加者とのコミュニケーションを図るための“ゲーム等の試み”や“気配りの大切さ”を話され、とても参考になりました。

講習の後、緑のコーディネーター6期生の富永さんが、ツアーコース「お堀の水生植物、生き物」の講師として現地を案内。

堀の周りの植物を観察しながら富永さんの説明があり、生き物に関しては五種類のトンボを観察することが出来ました。トンボの習性や名前の由来など、知らない事ばかりで、とても興味深い説明内容でした。

お土産に「ハスの実」を頂き、育て方も付いていましたので、早速育ててみよう…と思います。

8月9日（土）市民を対象に「舞鶴公園夏のいきもの観察会」を計画しましたが、台風の接近で中止になり残念でした。



まずはゲームで雰囲気づくり



お堀でトンボを観察しました



本日観察した植物や生き物を振り返りました

記事投稿のしかた

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面（メール可）で提出してください。記事の量によっては、重要個所のみ掲載となります。9月号（9月20日前後発行）への投稿締切は9月10日です。

（発行元／事務局）

福岡市住宅都市局
みどりのまち推進部
みどり推進課
TEL：711-4424
FAX：733-5590
（公財）福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス：
anjyu.t@midorimachi.jp
TEL：822-5832
FAX：822-5848

「花だより」～しろうお会～

早良区南庄4丁目の街路花壇を管理されている「しろうお会」の方から、「コスモスがきれいに咲いているので見に来てください」とお電話をいただきました。

早速見に行ったら、黄花コスモスの他にもポーチュラカ・ケイトウ・ペチュニアが元気に咲いていました。

今年は雨が多くて水やりは楽でしたが、やっぱり太陽が恋しいですね。



8/7 黄花コスモスとケイトウ
大きな通りに面しているのだからでも目立ちます。



元気に咲いたポーチュラカとペチュニア 華やかです。
中はハートの形になっています。

九州で初の『寄せ植え華道』特別講習会に参加しました

《緑のコーディネーター 米倉治美さん》

去る7月14日(月) 長崎オランダ村事務所(現在西海市西彼総合支所)にて、オランダ村催事実行委員会 主催による九州初『寄せ植え華道』特別講習会が開催されました。

「こんな貴重な機会はありません」と園芸福祉ふくおかネットの代表・谷口 博隆さん、副代表・黒瀬 恵子さん、顧問・山崎 博子さん 会員・井上 妙子さん、米倉 治美5名で研修に行ってきました。

『寄せ植え華道』は、福岡ではあまり耳慣れませんが、岐阜県で誕生してから7年目の協会です。日本古来の華道や盆栽などの「和」の感性とガーデニング、フラワーデザインなどの「洋」の文化を融合させて空間を装飾していきます。

今回の講座は、午前の部は「長崎オランダ村から、花の街づくり特別教室」と題してデモンストレーション、午後の部は「寄せ植え華道体験教室」の2部構成でした。午前の部では、市長さんをはじめ長崎県以外の方々も含め150名が参加しました。

午前の部のデモンストレーションで、ゲスト講師の小林 久美子さん(寄せ植え華道協会 特別講

師)、木野村 順子さん、堀内 絹代さん(寄せ植え華道協会 サブ講師)の作品作りがはじまると、講師陣たちの「技を一寸も見逃すまい」と会場の空気が張りつめていきました。

愛知県の瓦メーカーさんが創ったという瓦素材のスリット入りの器に、花苗、苔などの花材を順番に植え込みながら立体的に作っていく様は、同ネットで勉強したハンギングバスケットの要領にとっても似ています。

フラワーアレンジと日本の伝統華道をコラボした斬新な世界観は、とても刺激的で目を瞠るものがありました。三者一体の作品が完成すると会場からは「わあ、素晴らしい」。興奮と感動の渦があちらこちらに、湧き上がっていました。寄せ植え華道協会のみなさんとてもエネルギーで意欲的、「近々、寄せ植え華道を海外に広めるため、フランスに行ってきます!」と話されていました。

その後、研修を終え私たち一行、せっかく長崎まで来たんだから「おいしいもん食べに行こう!」と谷口代表の運転する車を走らせ、西海橋近くで見つけた食堂でおいしいお魚料理を頂き、研修&グルメを満喫した楽しい一日でした。



器の説明



解説する正師範 小林久美子氏



寄せ植え華道講師と一緒に

筑後吉井の花飾り ～吉井町のドラゴンウイングに会いに行く～

《緑のコーディネーター 吉松晃子さん》

7月中旬に、筑後吉井の花飾りを見学しました。
白壁土蔵の町並みに、赤のベゴニア（ドラゴンウイング）が美しく咲き誇っていました。

江戸時代に街道の宿場町として栄えた、うきは市吉井町は、平成8年・町並み保存地区福岡県第1号に選定され、今も国道210号線沿いを中心に白壁土蔵の商家が並び、これらを核にして道路沿いの花飾りなど、「町興し」が盛んです。

電線が地下にあるので、空がとても広く見え、町並みも花も一段と引き立ちます。

うきは市吉井町の花飾り活動は、今年で10年目。お揃いの黒の鉄製スタンドに、目の高さに掛けられた「ハンギングバスケット」が150基。

年2回の植え替えには、市役所職員・商工会・商店主・地域の方々が多く携わります。「日本ハンギングバスケット協会」公認講師：古賀重子先生のご指導のもと、私共も、6月上旬、この植え替え作業の仲間に入れていただきました。

朝9時、中町広場に集合すると、分業での作業が始まりました。軽トラで咲き終わったバスケットを回収する係、回収した器材から古い苗を出して整備する係、新たに花を植える係、それを運ぶ係。流れ作業で、効率よく、みんなで和気あいあい、昼前には作業が完了したのは驚きでした。

6月はベゴニアを4苗植え込み、二週間もすれば器材が隠れる程に成長し、一ヶ月で大きくなります。今までの経験で、夏の暑さに耐えられる大きなベゴニア、緑の葉に鮮やかな真っ赤の花が定番となったそうです。

晩秋から春には、パンジーを10苗、黄色系で統一して「吉井ひな祭り」の「ぼんぼり」の代わり、《花灯り》となります。

商店街の人がお金を出し合い、飾って、水やりをして、立派に維持管理されています。道路沿いのいたる所に、同じ花が同じ高さに飾られ、統一されてとても美しいです。

吉井町の皆さんの地域を愛する気持ちが、10年も続く花飾りとして定着したのだと感じました。

福岡市内からは、高速朝倉インターを降りて車で10分と近いので、この夏、フルーツの里「うきは」と、白壁の町・筑後吉井を訪ねてみては如何でしょうか？



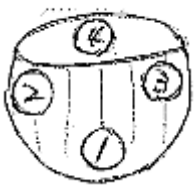
古賀重子先生の話进行



おそろいの黒アイアンのスタンド



目の高さに飾ってあります
下段に松 オリジナル作品です



6/3
5スリットのバスケット
にベゴニアを4苗植える



6/19
まだ器材が見えている



7/3
もう器材は見えません



7/14
こんなに大きく盛り
盛り咲いています

「苔玉講座」 ～四箇田公民館～

《緑のコーディネーター 黒瀬恵子さん》

7月17日（木）、早良区の四箇田公民館で苔玉講座を行いました。

四箇田公民館での苔玉講座は今回が2回目、参加者の中にはリピーターの方もいらっしゃいました。

苔玉に使用した植物は、姫トクサ、斑入りセキショウ、ワーヤープランツ、姫シノブ、ユキノシタで、自宅の庭で苔玉用として育てておいたものを使用しました。

苔も自宅で管理し、状態の良いものから使うようにしています。

苔玉の仕上げに苔を木綿糸で巻きつけますが、その部分が少し難しいので、実際に作る前に苔玉の模型を使って糸巻の練習をしていただきました。

苔玉は生きた植物で、管理を上手にすれば長く楽しめ、私たちの心を癒してくれるものなので、事前に育て方も丁寧にお伝えしました。

苔玉をつくりながら「楽しい！」と笑顔で言われ、思わず私も笑顔になりました。

緑の苔は私たちの心を和ませてくれます。小さな苔玉が、日々の暮らしに潤いを与えてくれると良いですね。



自宅で管理している苔

緑が美しい作品



みなさん楽しそうですね

「舞鶴公園 花と大木を巡る地図」配信・配布しています！！

「舞鶴公園 花と大木を巡る地図」を、福岡市緑のまちづくり協会ホームページにアップしています。

(トップページ→舞鶴公園のバナー→園内マップからご覧ください
<http://www.midorimachi.jp/park/map.php?code=302001>)

舞鶴公園と言えば桜が有名ですが、そのほかにもアジサイやスイレンなど、さまざまな花をお楽しみいただけます。また花だけではなく、幹に両手をまわしてもまったく届かないほどの大木がたくさんあります。

この「舞鶴公園 花と大木を巡る地図」では、園内のどこでどんな花が咲くのか、またどこでどんな大木が見られるのか、一枚の地図にまとめています。

園内の文化財のほか樹林地も楽しめる健脚コース（約120分）と、園内の文化財を中心に楽しめる階段のないゆったりコース（約60分）の2コースを設定しており、裏面では、舞鶴公園の主な史跡などのみどころをご紹介しますので、散策を楽しまれるときにお役に立つと思います。

この地図をダウンロードして、ぜひ舞鶴公園の散策においでください。

なお、地図は舞鶴公園管理事務所（陸上競技場入り口）および福岡城むかし探訪館でも配布しておりますので、あわせてご利用ください。

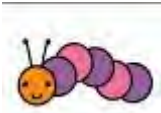


表：舞鶴公園 花と大木を巡る地図



裏：みどころいろいろ

「グリップキャンペーン2014」体験講座企画運営募集



～緑のコーディネーターの皆さまへ～

今年も天神中央公園で、「グリップキャンペーン2014」を開催いたします。毎年多くの来場者があり、緑とふれあい、秋の1日を楽しんでもらっています。市民の皆さまに植物の素晴らしさを知ってもらえるよう、今年も「緑のコーディネーター体験講座」を開催いたします。講座の企画・運営をしていただける緑のコーディネーターさんを募集いたします。

【日程】10月18日(土)・19日(日)

【場所】天神中央公園

◆緑のコーディネーター体験講座

3講座(講師は1講座2名)×2日 全6講座

講座の内容、日程が重なった場合は事務局で調整させていただきます。



昨年の講座の様子

お問い合わせ、申込は下記までお願いします。(申込締切9月4日)

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 安重(あんじゅう)

TEL:822-5832 FAX:822-5848 Eメール: anjyu.t@midorimachi.jp

■グリップキャンペーン2014

「コンテナガーデンコンテスト」

「ウェルカムガーデンデザイン提案」募集しています。

詳しい内容は8月上旬に、緑のコーディネーター・緑の活動団体の皆さまには送付しています。皆さまの作品で、グリップキャンペーンを訪れる方々をお迎えしませんか?

応募締切は、9月4日(木)必着です。

お問合せ:福岡市都市緑化推進行事実行委員会事務局

(公財)福岡市緑のまちづくり協会

みどり課 梶返、倉橋(Tel 822-5832)



昨年のウェルカムガーデン

福岡市植物園からのお知らせ(情報提供)

こんにちは福岡市植物園です。

植物園では、8月の毎土曜日に夜間開園を開催しています。夜にしか咲かないサガリバナやヤコウボクなどを見ることができ、園路に設置したユウガオのアーチや約500個の灯明が美しく夜陰に浮かび、温室へと導いてくれます。

また、昼間も温室ギャラリー室でアサガオ展を開催しています。色々な咲き方のアサガオや、変化アサガオも展示しています。ぜひ植物園に



変化アサガオ

○展示会

- ・アサガオ展 ～8/31 (ギャラリー室)
- ・春の子どもスケッチ大会作品展 ～8/31 (緑の情報館1階)

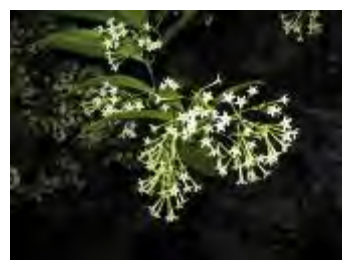
☆8月の土曜日は夜も開園します

(18:00～21:00 ※)

※入園は20:30まで、昼から引き続き入園することはできません。

☆植物園ホームページ

<http://:botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>



ヤコウボク



サガリバナ